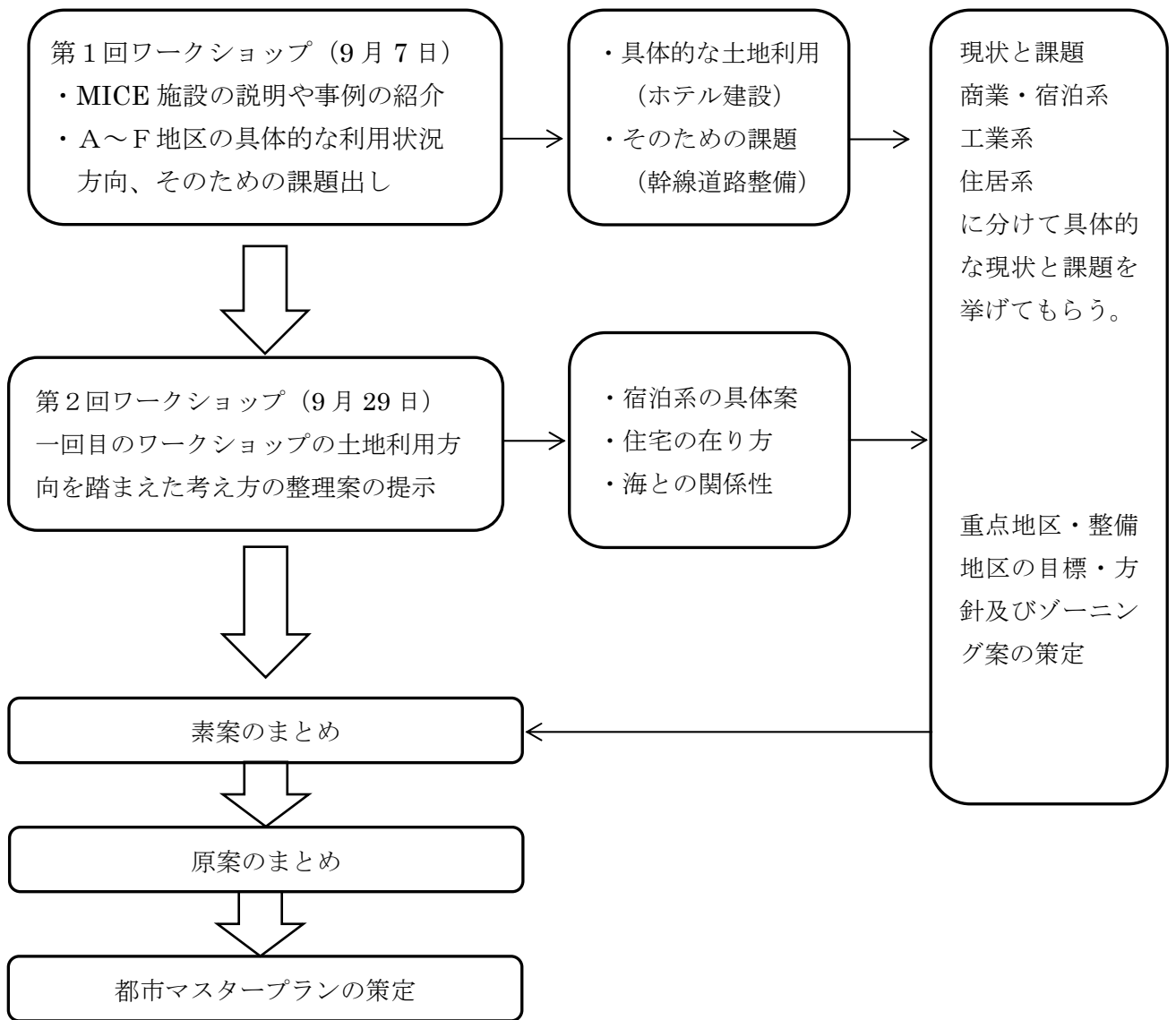


1、ワークショップの概要

進め方の基本的な流れ



2、第一回ワークショップの全体の進め方

1.はじめに（課長挨拶） (5分)

2.計画地区の概要説明（役所説明） (15分)

- MICE施設とアンケート結果の概要説明
- 計画地区の土地利用の考え方（都市マスタープラン）の説明

3.MICE周辺施設の考え方及び関連事例の紹介 (10分)

4.ワークショップの進め方についての説明 (15分)

- 商業・宿泊系・工業系・住居系でのラベルでの意見提示（p2資料による説明）
- テーブル・シャフル

4.A～F地区の地域別にワークショップ開催 (100分)

各グループとも、司会、ファシリテータを中心に進行します。

- メンバーの自己紹介（8人（司会、ファシリテータ除く）、1分/人×10人、10分）
- 商業・宿泊系、工業・農地系、住居系の付箋紙等の色分けの紙に現状と課題を書いてもらい、内容を説明、地図上の該当地域に貼付（10人×1.5回×5分/人=75分）。
- 話し合いのまとめと発表者依頼（15分）

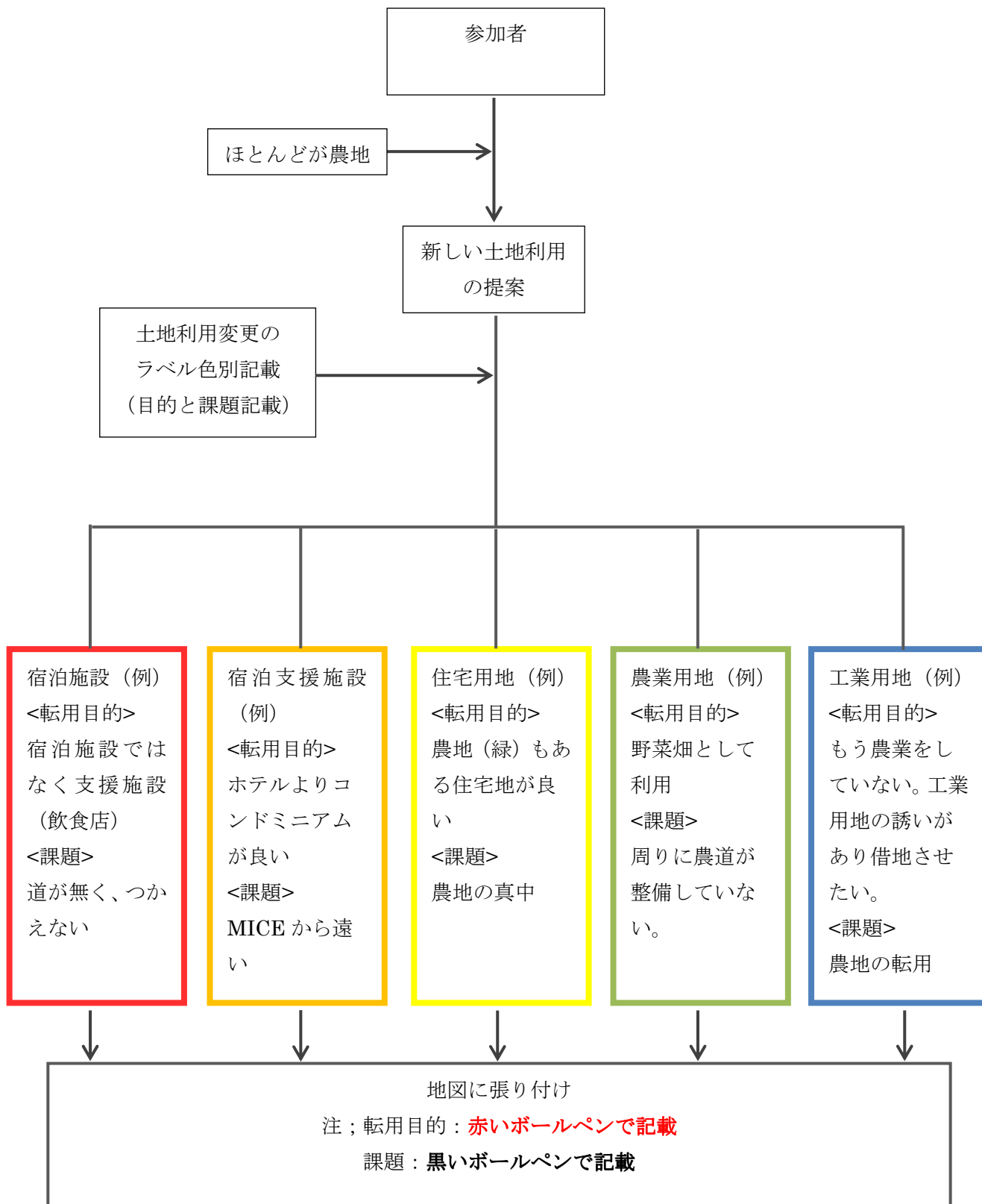
5.グループの話し合いの結果発表 (20分)

- 各グループ、前にも出てもらい発表者が話し合いの内容を発表します（5分/テーブル×4テーブル=20分）。

6.おわりに・・・（次回予定及び感想など） (10分)

- 付箋紙に今日の感想を書く。
- その間、次回予定を説明、参加希望者は付箋紙に記載。その際は名前も記載。
- 出入口に準備したボードに付箋紙を貼り付け、終了。

3、ワークショップのラベル記載と添付まで。



4、話し合いにあたってのお願い・ルール

この地権者ワークショップでは体験型勉強会、体験型話し合いの場で「共同作業法」検討方法を採用していきます。この方法の良いところは、さまざまな整備にとっても重要な地権者がまちづくりに意見や提案を自由に話し合える事、出された意見や提案を目に見える形で整理しながら検討することにあります。そこで、この場を有意義なものにするために、次のようなお願いとルールを守って話し合いをしてください。

- ・参加者は自由に、活発に意見を言おう。
- ・みんなの話を聞こう。1人だけで話すのはやめよう。
- ・他人の意見や提案を批判するのはやめよう。
- ・たくさん意見が出るように、話を盛り上げよう。
- ・みんなで楽しく参加しよう。